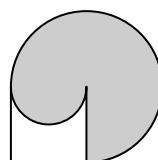


や す ら ぎ 通 信

第31号 (平成25年6月1日) 発行: 大阪府立急性期・総合医療センター

水無月(水張月)



この道

作詞 北原白秋 作曲 山田耕筰

この道はいつか来た道

ああ そうだよ

あかしやの花が咲いてる

あの丘はいつか見た丘

ああ そうだよ

ほら 白い時計台だよ

この道はいつか来た道

ああ そうだよ

お母さまと馬車で行ったよ

あの雲もいつか見た雲

ああ そうだよ

山楂子(さんざし)の枝も垂れてる

今では、新暦 6 月の別名となった水無月(みなづき)、元は旧暦の 6 月の別名で、名称の由来には、梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であるからとも、逆に田植えが終わって田んぼに水を張る必要のある月で「水張月(みずはりづき)」からきたとする説、水無月の「無」は「の」が「な」に転じたもので「水の月」が元々とするなど諸説あるようです。このようにいろいろな呼び方が自然に応じてあることが日本の季節感の豊かなことを表しているのでしょうか。

4 月 25 日に日本気象協会から「季節のことば 36 選」が発表されました。この企画は、現代の季節感にあう新しい「季節のことば」を提案するための取り組みとして行われたもので、広く一般から季節の言葉が募集されました。

そして 8 人の委員の選考の結果、人気のあることばや、季節の先取り感をイメージできることばに焦点を当て「季節のことば 36 選」が選定されました。

6 月のことばは、「あじさい」、「梅雨(つゆ)」、「螢(ほたる)舞(ま)う」でした。皆さんの 6 月のイメージとは合致しているでしょうか。

なお、季節のことば 36 選は以下のとおりです。

1 月	初詣、寒稽古、雪おろし	2 月	節分、バレンタインデー、春一番
3 月	ひな祭り、なごり雪、春一番	4 月	入学式、花吹雪、春眠
5 月	風薰る、鯉のぼり、卯の花	6 月	あじさい、梅雨、螢舞う
7 月	蝉しぐれ、ひまわり、入道雲、夏休み	8 月	原爆忌(広島と長崎)、流れ星、朝顔
9 月	いわし雲、虫の声、お月見	10 月	紅葉前線、秋祭り、冬支度
11 月	木枯らし 1 号、七五三、時雨	12 月	冬将軍、クリスマス、除夜の鐘



さて、6 月のことばにも選ばれた「梅雨」、日本には四季ならぬ梅雨という 5 番目の季節があるといわれるほど特徴的な気候で、大阪でも例年、6 月上・中旬から 7 月中旬にかけて雨の多いシーズンを迎えます。

梅雨は北海道と小笠原諸島を除く日本、朝鮮半島南部、中国の華南や華中の沿岸部、および台湾など東アジアの広範囲においてみられる特有の気象現象で、毎年この時期にめぐってくる曇りや雨の多い期間のことを言います。

長く続く雨模様は多くの人の気分を滅入らせ、湿度の高さから黴(かび)が発生しやすく健康的にもマイナスのイメージがあります。しかしながら、農業等にとって欠くことのできない「恵みの雨」であることも多くの方々に理解されています。もともと水田による米作が日本の農業の中心であったためこの時期の雨は稻作にとって不

可欠なものでした。

稻はこの時期、たくさんの雨で満たされた田んぼですくすくと育ち夏の開花に備えます。梅雨は山野の植物を育み生態系を維持するとともに、日本の文化の基礎である稻作文化を支えてきたといえます。

しかし一方、雨は、「恵みの雨」から表情を一変させて大きな災害を私たちにもたらすことがしばしばあります。特に、梅雨終盤の豪雨や台風の大雨は多くの被害を私たちに与えてきました。昔に比べればずいぶん治水対策が進んだと言われていても、例えば近年の地球温暖化の影響のためか局地的、突発的に発生するゲリラ豪雨なるものが都市を襲い、住民の生命や財産に多大なる損害を今だに与えています。

かつて、大量の雨をうまく処理するうえでは、水田は大きな役割を果たしていました。例えば、水田が雨水を貯め、時間をかけてゆっくりと水を流し出すことで、洪水を防いだり被害を小さくしたりしていました。そのため、「水田はダムである」とも言われていました。しかし、ご承知のように、都市近郊での水田の消失に伴い、この保水機能はすっかり失われてしまいました。そしてコンクリートやアスファルトで覆われた都市の表面に一時に大量の降雨があると、都市下水にその排水機能を越える雨水が一斉に流れ込み水が溢れることとなります。溢れ出た水は、家屋を浸水させたり、時には、ビルの地下階にいた人が亡くなられるような被害を与えます。

水は、地球にとって代表的な資源であり、水無しにはすべての生物が生きていくことは出来ません。私たちは過去から水に対し治水・利水という形で積極的にかかわり、古代の偉大な文明は皆、大河のほとりから発生してきました。やがて土木技術の進展などにより治水は高度に管理されるようになり大雨による被害も過去に比べずいぶん軽減されてきました。

しかし、それでも繰り返される水害の報に接するたび、自然の驚異の大きさと人間の驕慢をいさめる摂理をしばしば感じことがあります。これは、水だけではなく空気や他の動植物、地形・土壤など地球上のあらゆるものは人間が好き勝手にコントロールできるものではなく、共存し、尊重すべき存在であることを教え諭しているかもしれません。そのことは、先の東日本大震災でも多く方が感じられたのではないでしょうか。

もちろん私たちは、さらなる安全や安心を求め、より快適な暮らしを求めることがやめることは出来ません。ただ、その中においても一滴の水が天からの雨で始まり森や土に抱かれた後、川や地下水となりその一部を我々が少しの間、預かり、やがて海に戻すという気持ちを持ちながら利用する、対処するということが大切なではないでしょうか。

この時期雨が続いますが、水溜りを避けるために足元ばかりに目を落とすのではなく、時には雨が私たちにもたらしてくれる恩恵や災いに思いを馳せ、傘を傾け梅雨の空を少し見上げてみるのは如何でしょうか。

NEWS

【(新) 臨床研究の新たな発展をめざしー臨床研究センターを設置しました】

当センターはわが国の代表的な高度総合医療施設として質の高い医療を提供する役割を担っております。そのために日々進歩していく医学に合わせ新しい医療技術や医療サービスを導入し、臨床成果を検証し、不断の努力で臨床研究を積み重ねていく必要があります。

急性期医療から高度専門医療まで、総合力を生かした良質な医療を提供するとともに、医療人の育成と府域医療水準の向上に貢献することが当センターの理念です。この理念に加えて、臨床医学を土台として、その病態を明確にしつつ、未解決分野への取り組み、さらに新規治療の開発を目指すための臨床研究の円滑なる推進を図る目的で、当センター内の独立した部門として平成 24 年 10 月に臨床研究部が設置され、平成 25 年 4 月には臨床研究センターに昇格しました。

臨床研究センターは 11 の研究部門と実験可能な臨床研究室からなり、専任医師 1 名と CRC2 名、データマネージャー 1 名、事務 1 名、また各部門長としては兼任医師、薬剤師、看護師から構成されています。各研究部門の概要は以下のとおりです。

第 1 研究部門（がん）、第 2 研究部門（腎、心、血管、肺）、第 3 研究部門（代謝、消化器）、第 4 研究部門（精神、脳、神経、麻酔）、第 5 研究部門（免疫、アレルギー、移植、感染）、第 6 研究部門（救急、小児、周産期）、第 7 研究部門（運動器）、第 8 研究部門（生体画像、検査医学）、第 9 研究部門（薬学）、第 10 研究部門（看護学）、第 11 研究部門（医療疫学、医療情報、臨床研究室（実験）

今後、当センター独自の臨床研究を推進し、また他施設と連携した大規模臨床研究、トランスレーショナルリサーチを推進し高度総合医療施設に恥じない臨床研究センターとして医学の発展と府民の健康と福祉に貢献できるよう精力的に研究を進めていく予定です。皆様方の臨床研究センターへの暖かいご支援、ご鞭撻をどうかよろしくお願い申し上げます。

臨床研究センター センター長 武田伸一

【(継)白内障 日帰り手術開始！！－眼科－】

当センター眼科では、白内障手術を重要手術の一つとして行ってきました。白内障とは水晶体が混濁する病気で多くは加齢性変化です。自覚症状としてはぼやけて見えたりまぶしく感じられたり様々です。当科では平成 24 年には 1322 件と 10 年前と比べても大幅に増加しています。

今まで当科では白内障手術をすべて入院手術で行ってきました。白内障手術機器

の進歩や感染症対策の充実により安全性も高まってきた。また社会的な背景もあり当科での白内障手術は原則として日帰りで行うことになりました。また日帰り白内障手術の術中や終了後に万一、全身状態などが急変した場合には専門医師による対応や入院が可能ですのでご安心下さい。

白内障手術ですが、局所麻酔で行い手術時間は15~20分程度です（時に30分以上かかる場合もあります）。通常、傷口は3mm弱で超音波により水晶体核を碎き、その周りの柔らかい皮質を吸引した後に眼内レンズを挿入します。術後は1時間程度安静の後に問題がなければ帰宅していただきます。術後の通院は必要です。重篤な合併症としては感染症などがありますが、通常のものは目薬や日にち薬で良くなっています。詳しいことは診察時にお尋ね下さい。

眼科 主任部長 内堀 恭孝

【(継)長井美樹医長等、「摂食嚥下ケアがわかる本—食の楽しみをささえるために—」を共同執筆・出版 一耳鼻咽喉・頭頸部外科】

3月にエピック社より「摂食嚥下ケアがわかる本」(監修松田暉先生、編集野崎園子先生)が出版されました。

本書は兵庫医療大学リハビリテーション学部教授で神経内科専門医の野崎園子先生を中心に、当センターから耳鼻咽喉・頭頸部外科 長井美樹医長、摂食嚥下認定看護師 山本陽子看護師と西尾依見子看護師、リハビリテーション科 大黒大輔言語聴覚士もそれぞれの専門分野で分担執筆しております。

本書の対象は患者さん、ご家族の方、介護者の方など嚥下に困っているすべての方に読んでいただけるものとなっています。摂食嚥下機能改善のための体操や訓練、姿勢、食形態、食器、食べ方や介助法、摂食嚥下を助ける装置や補助具、手術法、チューブ栄養や胃瘻についても解説されています。医療従事者の方であれば患者さんへの説明などにも使えると思います。

是非、多くの医療関係者、患者さんやご家族の方などにお読みいただければと思います。

構成 (略)

はじめに

松田 暉

9 食事介助のコツ

山本陽子・西尾以見子ほか

14 家庭でのリスク管理

山本陽子・西尾以見子ほか

18 繰り返す誤嚥性肺炎への対応

山本陽子・西尾以見子ほか

19 誤嚥イコール絶食ではない

大黒大輔

20 経鼻経管栄養・経腸栄養剤

山本陽子・西尾以見子ほか

22 誤嚥を防止する手術

長井美樹

23 嘔下を助ける手術 (嚥下機能改善手術)

長井美樹

26 専門資格：摂食嚥下障害の認定資格

山本陽子・西尾以見子ほか

おわりに

野崎園子

【(継)外科から新たに呼吸器外科が独立しました！　—呼吸器外科—】

呼吸器疾患の診療におきましては、地域の先生方には平素より大変お世話になり有り難うございます。

さて、当センターの呼吸器外科はこれまで「外科」のなかの一分野として、4つの領域（消化器外科、乳腺内分泌外科、呼吸器外科、小児外科）の一つとして業績を積んで参りましたが、この4月から独立しております。

診療内容は、肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍など胸部の腫瘍性病変が主な対象です。胸腔鏡を用いた内視鏡手術による低侵襲治療を積極的に行い入院期間の短縮を図っており、腫瘍性病変の他、気胸、膿胸や胸膜炎などに対しても内視鏡治療を積極的に行っております。

また、当センターでは PET-CT 検診も始まっています。胸部領域における未確診の腫瘍性病変や、胸水など胸膜疾患に対する診断の機会・必要性は今後ますます増えていくものと思われます。胸部疾患の診断に対しても胸腔鏡手術の手法を用いて積極的にアプローチしていきます。

胸部領域の診療におきましては、これまで呼吸器内科、画像診断科、放射線治療科と連携して診断治療を行って参りましたが、呼吸器外科の独立を機に一層連携を強化し、診療科横断的な体制で日々の診療と集学的治療に当たっていきたいと思います。

呼吸器外科の標榜により、これまで以上の充実した地域医療連携を行えるよう努めて参りますので、何卒ご指導の程お願い申し上げます。

大阪府立急性期・総合医療センター
呼吸器外科部長 大森謙一

【(継)下肢静脈瘤 血管内レーザー治療を実施しています。—形成外科—】

従来下肢静脈瘤の治療は、医療機関によって血管外科、形成外科、皮膚科などの診療科で行われてきましたが、当院では平成18年より形成外科にて下肢静脈瘤の診断から治療までを一貫して行っております。形成外科で下肢静脈瘤の手術を行うメリットとしては、形成外科独自の繊細な手法により、より整容面に留意した手術結果を得ることが出来ることです。

また、最近ではストリッピング術（大・小不在静脈を抜去する手術）において、従来から使用されてきた外翻式ストリッパーに比べ、組織侵襲の少ない内翻式ストリッパーを導入するなど、患者様にとって侵襲の少ない手術を心がけてきました。

さらに、平成24年10月からは、下肢静脈瘤用レーザー（ELVeS レーザー）を導入し、レーザーを用いた血管内凝固による下肢静脈治療を開始いたしました。本治療は今までのように大きく皮膚を切開する必要がない画期的な血管内手術で、患者様の負担も軽く、症例によっては日帰り手術も可能となりました。費用面においても、平成24年4月より正式に保険適応が認められ、すべて保険で診察が可能です。

今まで症状はあるが、手術までしてはイヤだと思っていた患者様にも、安心して治療を受けていただけると考えております。

ご相談は 形成外科まで。

【(継) PET-CT検診ができるようになりましたー料金 98,000円】

PET検診とは、放射線を微量に放出する検査薬を点滴で体の中に入れることで、がん細胞に目印をつけ専用の装置で撮影し、小さながん細胞を早期発見していく検査です。使用する放射性薬剤は¹⁸F-FDGというブドウ糖とほぼ同じ性質で副作用は出にくいと言われています。また、検査の被ばく量は一般に体幹部のCT検査と同じぐらいで、医学的に問題となる可能性は極めて低いと考えられています。

当センターのPET-CT装置は、PETとCTの画像を同時に撮影することができる機器で一度に全身の（頭部から大腿部）のFDG-PETがん検診とCT検査を受診できます。国内で5台目のTOF技術（Time-of-Flight）を用いた世界最高水準のもので、ノイズの少ないクリアで高品質な画像を得ることができます。

検査の所要時間は3~4時間かかります。検査室は、優しく穏やかな雰囲気で統一し、検査薬剤を投与してから約1時間待機していただく待機室には、リクライニングチェアを設置し、毛布や観葉植物、アロマなども用意し、くつろいで過ごしていただける空間となっております。

検査の費用は98,000円です。お申し込みは「患者相談窓口」にお申し出ください。お電話の場合は「医療コールセンター」へご連絡ください。必要書類を郵送させていただきます。検査の結果は、後日、放射線治療科の医師より説明させていただきます。結果説明にお越しになれない場合は、事前にお申し出いただければ、結果郵送も診断専門医・PET診断認定医が行います。

お申し込みの際には、相談室の看護師が対応させていただきますので、検診をお悩み方もどうぞ気軽にご相談ください。

PET検診ご希望の方は「患者相談窓口」にお申し出ください。

電話申し込みは「医療相談コールセンター」

06-6692-2800

06-6692-2801 まで

【(継) 新たな専門外来ー喘息専門外来を開設しました！ 免疫リウマチ科】

このたび、気管支喘息（喘息）治療の標準化、喘息発作患者さんの受け入れ体制の改善、そして喘息死ゼロを目指して、喘息専門外来（成人）を開設しました。

気管支喘息（喘息ーぜんそく）の治療は、近年めざましく進歩しました。

喘息の診断にお困りの方、あるいはなかなかよくならない喘息患者さんは是非、当科の喘息専門外来（成人）を受診して下さい。

喘息に関しては、息苦しくなる発作がその時に治まるだけでいいというものではありません。発作を繰り返すことで、将来気管支が細くなったりまま広がりにくくなり、また、気管支がより過敏な状態となることで重症になる可能性が高くなります。従って発作を予防する（炎症を治める）治療をすることが最も大切です。

吸入ステロイドを中心とした炎症を治める治療に重点を置き、抗 IgE 抗体療法なども積極的に導入させていただきます。また、必要な患者さんには喘息日誌やピークフローによる自己管理をお勧めし、その指導をさせていただきます。

ご相談は、免疫リウマチ科　主任部長　藤原　弘士　まで

【(継) 「医療相談」コールセンターのご利用を—地域医療連携室】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号　　06-6692-2800　　(専用電話回線)

　　　　　06-6692-2801　　(専用電話回線)

相談日時　　月曜日～金曜日

　　　　　午前9時～午後5時

相談対象　医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員　　看護師

【(継) 診察予約変更センター　11 診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の 11 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意いただきますようお願いします。

電話番号　　06-6692-1201(代表)にダイヤルして
　　　　　「予約変更センター」と言ってください。

受付時間　　午後3時～午後5時(平日のみ)

対象診療科　内科・呼吸器内科　消化器内科　糖尿病代謝内科　整形外科
　　　　　免疫リウマチ科　皮膚科　形成外科　腎臓・高血圧内科
　　　　　神経内科　脳神経外科　耳鼻咽喉・頭頸部外科

【(継) 入院治療費の概算に加え、新たに外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスを始めました。】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター(やすらぎセンター)におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、昨年、11月1日から、新たに、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスを開始しました。

今月の催し

【(新) ミニコンサート～弦楽四重奏～】

日 時 6月3日(月) 午後3時～
場 所 本館1階 アトリウム
出 演 日本センチュリー交響楽団
入場料 無料

【(新) 府民公開講座】

日 時 6月8日(土) 午後1時30分～3時 (開場は1時から)
場 所 本館3階 講堂
内 容 心房細動とその最新治療
講 師 心臓内科 副部長 古川 善郎
申込方法 当日先着順、定員100名になり次第締め切ります

【(新) すこやかセミナー 「睡眠時無呼吸症候群】

日 時 6月13日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療部長 武田 和也
参加費 無料

**【(新) 第26回相愛大学連携コンサート・ホルンアンサンブル
～心やわらぐホルンの音色を楽しもう～】**

日 時 6月25日(火) 午後2時～
場 所 本館3階 講堂
出 演 Sprout Horns (スプラウト ホルンズ)
入場料 無料

**【(新) 大好評！ 相愛大学連携 第27回外来糖尿病教室
知って得する！ 糖尿病との付き合い方】**

日 時 6月25日(火) 午後1時～3時30分
場 所 本館1階 アトリウム

- 内 容 体脂肪診断 13時～14時
講 演 14時～15時30分
- ・「糖尿病は甘くない」 知らないと怖い糖尿病の話
(糖尿病代謝内科診療主任 藤木 典隆)
 - ・インクレチン関連薬について (薬局 薬剤師 岡田 幸恵)
 - ・低炭水化物ダイエット (相愛大学栄養学部准教授 竹山 育子)

**【(新) すこやかセミナー 「むし歯予防のお話し
ホントに歯磨きだけで丈夫ですか?】**

- 日 時 6月28日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 障がい者歯科 副部長 大西 智之
参加費 無料

**【(継) 第9回病院ギャラリー企画展
岩宮武二“アンコールワットで仏像を撮る”写真展】**

岩宮武二は1920年に鳥取県米子市に生まれ89年に没するまで、日本を代表する写真家として活躍。1966年46歳で大阪芸術大学の教授となり、後進の育成に貢献した。「今に生きる」を座右の銘にしていた岩宮が、クメール・ルージュによる厳しい破壊にもかかわらず生き残ったアンコールワットの仏像たちを過去から現在、現在から未来への時間的流れのなかで優しく切り取った秀作で今回の企画展を構成。

(本展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。)

開催期間 2013年4月22日(月)～8月23日(金) (午前9時～午後5時30分)

(展示作品 35点—撮影 1986年)

- ・アンコールワット正面全景
- ・第一回廊と中央祠堂
- ・獅子
- ・経蔵
- ・カウラーヴァ軍とバーンタヴァ軍の戦闘
- ・闘う兵士と怪鳥
- ・バーンタヴァ軍と軍像
- ・十字中回廊
- ・群舞するデヴァター
- ・十字中回廊の諸尊
- ・連子窓
- ・アシュラ像・アンコールトム
- ・南大門・アンコールトム
- ・南大門四面仏・アンコールトム
- ・像の訓練・象のテラス
- ・たわむれる子どもたち
- ・戦闘用の牛車・象のテラス
- ・五つ頭の神馬・象のテラス
- ・踊る守護神・象のテラス
- ・第一回廊・バイヨン
- ・人々の暮らし・バイヨン
- ・食事の支度・バイヨン
- ・闘うチャム軍とクメール軍
- ・第一回廊列柱・バイヨン
- ・蓮の上で踊るアブサラス・バイヨン
- ・中央祠堂・バイヨン

- ・四面塔
 - ・バンテアイ・フレイ正面
 - ・守護神
 - ・五つ頭のナーガ
 - ・プレー・ループ全景
 - ・バイヨンの微笑
 - ・獣面人身像
 - ・グリシュナとバララーマ
 - ・人面塔・プリヤ・カン

【(予告) すこやかセミナー 「スキンケアについて」】

日 時 7月 11 日(木) 午後 2 時～3 時

場 所 本館 3 階 保健教室

講 師 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 中西 恵美

参加費 無料

【(予告) 第15回万代・夢寄席 豊来屋玉之助】

～太神楽で梅雨空を吹き飛ばそう～】

日 時 7月16日(火) 午後2時~

場 所 本館 3 階 講堂

出 演 豊来屋 玉之助

入場料 無料

【(予告) 大好評! 相愛大学連携 第28回 外来糖尿病教室】

知って得する！ 糖尿病との付き合い方

日 時 7月17日(水) 午後1時~3時30分

場 所 本館 1 階 アトリウム

内 容 食事診断 13 時～14 時

講演 14 時～15 時 30 分

- ・糖尿病網膜症の話 (糖尿病代謝内科医師 片岡 隆太郎)
 - ・四肢血圧同時測定「ABI」って何？

(検査科臨床検査技師 藤田 武)

- ・間食 (栄養室管理栄養士 笠井 香織)

參加費 無料

【(予告) すこやかセミナー 輸血今昔物語】

日 時 7月26日(金) 午前11時~12時

場 所 本館 3 階 保健教室

講 師 臨床検査科 副技師長 岩田 和友子
参加費 無料

【(予告・募集) 作品展 (コスモス会の開催と作品の募集について】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を 10 月 28 日から 30 日の間、本館 3 階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格	患者さんとその家族及び病院関係者
応募方法	出展ご希望の方は、当センター総務グループ（06-6692-1201 内線 2313）へお問い合わせください。
応募作品例	絵画、写真、書道、手芸ほか
作品受付日	10 月 28 日（月）午前 9 時～10 時
作品返却日	10 月 30 日（水）午後 4 時～5 時

Topics

【(新) やすらぎのプロムナードで季節の訪れを感じよう—北側通路周辺—】

しとしと降る雨に濡れ、プロムナードの草木も緑の色合いを深めてきました。それの中でもくちなしひ葉は蝶でも塗ったようにつやつやとして、白く甘い花の芳香とともにその存在を強く私たちに印象付けてくれます。

果実は秋に赤黄色に色づき古くから黄色の着色料に用いられ、漢方薬にも使われたりします。なお、実が熟しても開かないことから「口無し」という和名になったという説があります。花言葉は、「幸せを運ぶ」「清潔」など。西洋では、男性が女性に贈る花の定番となっているとのこと。

もしう時間が許せば、やすらぎのプロムナードでこの時期にしかめぐり合えないくちなしひ美しい花姿と甘い香りを暫しお楽しみください。

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 画像診断科担当 松下さんの巻】

私は今年1月から放射線治療科で受付業務を担当しています。

放射線治療は、決められた治療回数を最後まで受けさせていかないと効果の出ない、時間のかかる治療です。患者様にとって大変気の重い治療だと思います。

治療の始まったばかりの患者様とは挨拶をする程度ですが、回数を重ねていくと待ち時間に話しかけてくださったりします。

笑顔のなかった患者様が少しずつ笑顔を見せてくださるようになると、私も“ホッと”した気持ちになり自然と笑顔で応えています。

そして、最後の治療の日を迎えたときには、お会い出来なくなることが少し寂しい気もしますが、無事終えられて本当に良かったと思います。

これからも、日々の業務の中で笑顔と優しさを忘れずに患者様に接していきたいと思います。

その他のお知らせ

【(継) やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いします。なお、ホームページのご検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

【(継) 医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。